

## 第15回せいい看護学会学術集会 優秀演題賞 報告

優秀演題賞選考委員リーダー 清水 隆裕<sup>1)</sup>

せいい看護学会学術集会優秀演題賞は、第15回せいい看護学会学術集会が第1回であり、「せいい看護学会学術集会優秀演題賞表彰に関する規程」で定められました。この賞は、学術集会の一般演題（研究報告・実践報告）が対象で、看護の発展に寄与すると認められるものを選出・表彰することを目的として設けられました。選考結果は以下の通りです。

### 第15回 せいい看護学会学術集会優秀演題

「A病院における看護職員と介護職員の協働の現状－看護補助体制充実加算の研修会での意見から－」

赤石ゆかり 北斗わかば病院

「消化器内科・外科病棟における鎮静薬を使用した内視鏡検査・治療後の転倒・転落防止に対する取り組み」

横山裕子、近藤亮子 総合病院 聖隷三方原病院

「看護師が若年婦人科がん患者に対して関わりの難しさを感じる理由」

坂下千鶴<sup>1)</sup>、梅田靖子<sup>1)</sup>、鈴木貴美<sup>1)</sup>、鈴木陽菜乃<sup>1)</sup>、山崎淑恵<sup>2)</sup>、寺田康祐<sup>2)</sup>、藤浪千種<sup>2)</sup>、伊藤千世子<sup>2)</sup>、大石ふみ子<sup>2)</sup>

1) 総合病院 聖隷浜松病院

2) 聖隷クリストファー大学



### 優秀演題賞選考を終えて

選考は、学術集会長に指名されたせいい看護学会会員である優秀演題賞選考委員8名（理事および企画委員推薦の臨床看護師4名、教授／准教授を中心とした大学教員4名）で行いました。手順として、応募されたすべての一般演題を対象に、抄録の内容から優秀演題賞候補の絞り込みを行い、学術集会当日の発表後、選考委員が抄録の内容・発表・質疑応答の様子を総合的に審査し、投票によって上位3演題を選出しました。なお今回選出された3演題の投票結果は同点でした。

本年度学術集会では、全体を通して臨床看護ならではの工夫された実践のみならず、正確な手順を踏んだ研究が多数見られました。今後の看護学、看護実践と本学会のさらなる発展を願っています。

1) 聖隷クリストファー大学